



英知  
誠実  
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校

令和5年度 11月号

## 人権について考えよう

校長 浅野 謙一

来月、12月10日は国際連合が定めた「人権デー」です。それを受け、尾張旭市では、11月21日から12月22日の期間を「人権月間」と定めています。

人権とは、人が人らしく、幸せに生きる権利のことです。自由に遊び、好きなことを学ぶ権利や自分の思っていることを言うことができる権利などたくさんあります。しかし、人権が守られず、みんなが自分勝手な行動をしたらどうなるでしょう。お互いに相手の立場を考え、思いやりの気持ちをもって相手に接する心が大切です。そういった心をもつことが人権を尊重することになります。温かい心で人に接する。明るい笑顔で人に接する。心からの優しい言葉を人にかけてあげる。「ありがとう」「すみません」の感謝の言葉を忘れない。こんな思いやりの心をもった人たちが、旭中学校にたくさんいてほしいと思います。

古代日本では、「言霊（ことだま）」と言って、言葉には不思議な力が宿っていると信じられてます。言葉は使い方によって人の幸せと不幸を左右すると信じられていたそうです。この考え方は、今でも通用しています。日本の幼児教育に大きく貢献をされた高橋系吾さんの誌を紹介します。

### 「その一言」

その一言で 励まされ	その一言で 夢を持ち	その一言で 腹が立ち
その一言で がっかりし	その一言で 泣かされる	
ほんのわずかな一言が	不思議な大きな力持つ	
ほんの一寸の一言で		

人間の言葉は、無限の可能性と大きな力を持っています。言葉は、使い方によっては、宝石よりも貴重な物になるし、人を傷つける凶器にもなるということです。

21世紀は「人権の世紀」とも言われています。世界には色々な文化、言語、様々な暮らしがあります。その違いの中で生きている人たちは、みんな、それぞれ、同じ「ひとりの人間」として、人権を持っているということです。これから私たちが生きるグローバルな社会では、多様な人たちと協力し合いながら色々な活躍をできることが重要になり、そのためにはお互いの人権をしっかりと理解して、認め合うことを実践できる力が必要になります。皆さんには、毎日の学校生活、普段の生活の中で、自分自身の人権意識を高め、そして周りの人達をも巻き込む力を発揮してくれることを期待しています。

10月から11月にかけて旭中学校では様々な行事がありました。体育大会に始まり、文化発表会・旭フェス、学校公開、2年生の職場体験、生徒総会と息をつく間もないほどの行事の連続、さらには期末テストも加わり、子どもたちにとっては慌ただしい毎日だったのではないのでしょうか。しかし、それぞれの行事には、全力で取り組む子どもたちの姿がありました。全てが上手くいったものばかりではないと思いますが、成功も失敗も一つの経験として子どもたちを大きく成長させてくれていると思います。しばらく行事はありませんが、2学期も終わりが近づいています。ここまでの振り返りをきちんとし、今後につなげていってほしいものです。

文化発表会当日の様子を撮影した動画ですが、ただ今準備中です。準備が遅くなっており、申し訳ありません。準備が整い次第、H&SにてURLをお知らせしますので、もうしばらくお待ちください。なお、個人情報保護の観点から、URLを関係者以外には伝えないようにお願いします。

## ♪文化発表会・旭フェス♪



	曲名		曲名		曲名
1 B	明日へ	2 B	キミのもとへ…	3 C	君とみた海
1 F	変わらないもの	2 G	時を越えて	3 G	忘れることなんかできない
1 E	My Own Rood～僕が創る明日～	2 C	HE IWAの鐘	3 B	青葉の歌
1 G	ハートのアンテナ	2 E	輝くために	3 D	ヒカリ
1 A	僕らの奇跡	2 D	心の瞳	3 F	信じる
1 H	永遠のキャンパス	2 F	きみに届けよう	3 A	予感
1 D	カリブ夢の旅	2 A	翔る川よ	3 E	海の不思議
1 C	マイバラード	全体合唱曲：「今日は君の Birthday」			

